

【樹木の部屋】

スイカズラ（スイカズラ科スイカズラ属 *Lonicera japonica*）

和名: スイカズラ (吸い葛) **別名**: ニンドウ (忍冬) **英名**: Japanese Honeysuckle

マツムシソウ目 常緑つる性木本 **原産地**: 日本、朝鮮半島、中国

花言葉: 愛のきずな、献身的な愛、友愛 **花の色**: 黄、白



← 写真-1 スイカズラの全体
撮影日: 2013年07月13日
撮影場所: ヴォルツァーノ
(北イタリア)にて
撮影者: M さん

↓ → 写真-2、3 スイカズラの花と葉
撮影日: 2013年07月13日
撮影場所: ヴォルツァーノ
(北イタリア)にて
撮影者: M さん



市内を散策中に、街路樹の中に、変わった花が咲いていました。一見、街路樹に咲いた花?と思いましたが、よく見ると、下から巻き着いていました。蔓性植物でした。帰国後、調べてみると、スイカズラの仲間でした。

花期は5~7月。別名のニンドウ (忍冬) は、冬場を耐え忍ぶ事からこの名がついたそうです。

<ちょっと一言>

- * 忍冬（にんどう）：秋から冬にかけて、葉のついたまま茎を採取し、きざんで天日で乾燥させたもの。生薬。中国では忍冬藤（にんどうとう）と言われていています。
忍冬には、鎮径（ちんけい）、利尿、抗炎症、抗菌作用があつて、解熱、解毒、発熱、血痢、伝染性肝炎、化膿性疾患、神経痛、リュウマチなどの関節筋骨の疼痛に使用されるそうです。
- * 銀花（きんぎんか）：スイカズラの花を、開花期になるべく花蕾を摘み取り、日陰の風通しのよい所で乾燥させたもの。生薬。
金銀花にも忍冬と同様な効き目があり、忍冬よりも抗菌作用は強いと言われていています。
- * 忍冬酒（にんどうしゅ）：金銀花にホワイトリカーと砂糖を加えて熟成させたもの。利尿作用があり、膀胱炎、腎臓病、各種の皮膚病、強壯、強請にも効き目があるとされます。